

短歌

歩くしあわせ

春一日地域コミュニテイの手入れする桜並木を巡り眺めぬ
登山靴つけ杖つきで南嶺の麓ゆるりと歩くしあわせ
十数年前になじみし靴と杖「山の会への恩義を思う」
(高退協「山の会」のお世話を初歩者等に参加させていたいた)

「中一B組」女先生

田上悦子

「窓ガラス男子とげんかで割ったんですって！」「職員室に響かす女先生
「男子には負けずとっさりやりなさい。ただし外で」と我叱られず
歌集への先生からの感想は六十年後の花まるのこい」

※歌集「退協短歌サークル合同歌集「早春の巻」第10集

高退協文芸

俳句

花蘇鉄の四季 小澤 幸泉
寒椿落ちて友だちできました
子と孫に桜の植樹受け継がれ
「コナツ桐に希望を運ぶ桜祭り
遠い人の声が聞える春の山
山桜そろそろ君に会えそうな

川柳

帆傘集 小澤 幸泉
八十余年生きた名残りを積み重ね
放たれろ矢高知の地に育つ
「傲で」途なあなた(心)惚れました
(令和3年3月16日結婚四十五周年)
日々新らた更に絆をこれからも
不思議だなあ今朝もしつかり眼が覚める
核のゴミ再生不能と知りつつも
この空のつぎ御国はなるとぞい
寒椿ひとりポトリと散りぬるるを



手前左から時計回りに 谷内統一 井上圭介 三谷隆彦 高橋泰宏 樋口勇雄 小島真子

第181回高退協読書会

6月16日(水)14時～ ムトー荘2F(205号室)
課題本 斎藤幸平著 集英社新書 『人新生の「資本論」』
参加費 六百元(会場使用料)
参加希望者は直接お越しください。お問い合わせは次の方々のいずれかにご連絡ください。

樋口勇雄 高橋泰宏 小島真子 大川法由記 井上圭介 三谷隆彦

盛況！第180回読書会

加藤陽子 『それでも日本人は「戦争」を選んだ』
4月の例会は3人の新参加者を迎え、10名で活気盛んにおこなわれました。窓を開け風を通し、マスクをして熱心に意見交換がされました。

樋口勇雄さんから

学術会議の会員任命を首相に拒否された一人・加藤陽子さんの著書で、中学生を前に日本が近現代に行った4回の戦争の授業展開でした。日本人は戦争を選んだのか、為政者はそうだったとしても庶民はどうなのか、日本人には外国人に対する加害者意識がないのでは、竹本源治を突き抜けること…など。

これまでの読書会の2倍の方から出された感想は、共通認識は当然ですが、同じ本を読んでこれだけ違った視点からの感想が出る、読書会ならではの会になりました。

①TPP反対を言いながら、農業への影響必至の20超の1人区に自民党を推薦(見識ある地域も・・・福島を除く東北5県)
②自給率目標(2028年)基礎代謝すらまかなえない食糧自給率が増加する「食糧弱者」への視点を
③舞台裏で進む農業・農協改革・・・対米従属官僚人事介入、当事者排除の手法で農協つぶしを狙う
第3章 自公農政の急所はここだ
怒りと光・・・農業に携わる人は、泣き寝入りすることなく、もっと怒るべきである。農業団体は一人一人の怒りを結果する努力をすばきである。怒りの向こうに、一条の光が見いだせることを信じて

織はアクティブなれ
1 生産者主導の農政運動を確立しよう
2 自律的な農政運動を確立しよう
3 民主的・公正・誠実な議論・集約を武器に幅広い政党・政治家からの信頼を勝ち取ろう
4 政策提言を活用し、地域社会を始め国民各層からの信頼を勝ち取ろう
② 有事にこそ青年組織が行動を・・・米価要求全国大会などの例を参考に
③ 目覚めよ！ 眠れる遺伝子
まず自分が反対を表明し、生協などとも連携し、さらに商工会や青年会議所にも働きかける
④ 方針遂行の為に
1 生産者である使命とプライドを持って取り組むこと
2 地元メディアと連携を3 学ぶこと
5 政治家の裏切りを忘れなめんなよ
「JA青年部」
第5章 ベテランたちへの応援
1 農の改革は日常の中から生まれる
① 怒り、血のにじむ苦勞をしてロッチテールの原則は生まれた
1 民主的運営(一人一票の議決権)

2 自由加入と脱退の自由
3 出資金にたいする利子の固定、あるいは制限
4 購買高配当
5 現金取引(負債防止)
6 純粋に混じり物のない商品のみの販売
7 教育の推進(剰余金を利用して)
8 政治的・宗教的中立
② 組合員と役員協力の協働が「わがJA」意識を生む
③ ケア(他者に対する配慮や気遣い)が、職員のプロライドの源
④ 協働の力かQOL(生活の質)の向上を
2 「ワイワイ ガヤガヤ」の力・柔軟な「信頼関係・相互扶助・人的ネットワーク」が大切
「農協で大切な言葉(ほとんど省略)」
ブカン(五感)意志・感情・思考の伝達 シアワセ 百間(情報)
スモール(小さなものを第一に考える) EUはTrust Street「Trust」を掲げ、中小企業重視の姿勢を強化している
3 安倍政権は農協の存在基盤を揺るがしている。これはと闘うために役員は
① 農協の歴史に自信を持ち、組合員が何を求めているかを見定め、組合員と共に誠実に改善、改良、改革に取り組むこと

② JA綱領の「自主・自立と民主的運営」の基本に立ち、JAを健全に経営し、信頼を高めよう。具体的には特定の政党に追随せず、民主的に運営すること。これが、JAグループに求められている創造的自己改革である。「JAいいます」なめんなよ
第6章 価格保障と所得補償で再生産可能な農業を
志位和夫と小松泰信の対話、小松の問い、トランプの動きをどう見るか
志位の答え
1 軍事的覇権主義の危険性・・・軍事費、核戦力増強、日韓首脳拒絶
2 多国籍企業第一の政策強要
小松の問い 農協についてどう考えるか
志位の答え 共同販売、共同購入、共済、金融、医療などかがえのない組織
農業を国の基幹産業ととらえ、農産物の価格保障と所得補償が大切
小松の問い 農業問題についての考えは
志位の答え 党の「農業再生プラン」(2008)を発展させ、農業・農協をどうするかを提議する
小松 全国の農協へのメッセージ

志位の答え
1 TPP反対で頑張ったほしい。農協は金融機関を切り離れたら、国際的金融資本の餌食になる。
2 農協の理念は助け合い。協同組合は世界遺産にも登録され、光が当たっている。競争至上主義ではなく、助け合い、支え合うという伝統の力に、自信を持って活動してほしい。
3 地方経済を支えているのは、農林水産業、地場産業、中小企業。ここに光を当てる為に農協の役割は非常に大きい。
インタビューを終えて(小松)
「農協の役割は大きい。自信を持って活動せよ!」野党共闘を目指す」という志位さんの言葉は、満身創痍のJAを勇気づける。共産党の、素晴らしい農業再生プランを基軸として「共協戦線」の構築が政局を決める。
参考文献
国連食糧農業10年(農民運動編)
「家族農業は「合理的農業」の担い手たりうるか(村田 武)
13歳からの食と農「世界」諸論文 世界経済図説